

●「連町パークゴルフ大会」のご案内。!

今年度は3回とも送迎バス・昼食付きです。

日 時 5月23日(月) 8時 幌北まちづくりセンター出発
行く先 恵庭ルルマップパークゴルフ場
参加費 3,300円(当日払い)
申し込み 5月14日(土)まで民部田さん ☎716-5521へ

●「13条いこい公園合同清掃」のお知らせ。!

日 時 5月14日(土) / 5月28日(土) 9時~
雨天の時は、翌日の日曜日になります。

※今年度最初の公園清掃です。短時間で終わりますので、協力してください。
※時間の取れる方は、町内の花壇起こしに力を貸してください。

●「町内資源リサイクル回収日」は5月13日(金)です。

朝9時までには玄関前か、歩道前に出してください。
ダンボール類はゴミステーションに出すことは出来ませんので、資源回収を利用してください。
新聞、雑誌、牛乳パック、ダンボールは束ねて出すよう、お願いします。

●「熊本地震義援金」に協力してください。!

幌北連合町内会では「熊本地震」の被災地に各町内会からの義援金を集めて送ることにしました。町内会でも封筒募金の形で協力したいと思います。小封筒にお金を入れ、大封筒に入れてお隣に廻してください。募金額は自由です。
班長さんは、回覧が終わりましたらお手数ですが募金を、会計の民部田さんまで届けてください。

幌北第3町内会 Web サイト
<http://chiri.let.hokudai.ac.jp/~you/horokita3/>
回覧板など町内の最新情報を見ることができます!



資源回収のお知らせ



幌北第3町内会

紙類・ビン類・アルミ缶などは、製品の原料などに再利用できる貴重な資源です。
ゴミにしないで資源回収にご協力ください。

日時	5月13日(金) 午前9時00分
場所	各家庭玄関前・道路歩道までお出してください。

回収品目と出し方

新聞	新聞・チラシ・ピン止め雑誌(週刊誌・パンフレット) 注:包装紙・封筒・空き箱・背のりつき雑誌・ダンボール・ゴミ等は絶対に混ぜないで下さい。
雑誌	背のりで綴じてある本(マンガ本・カタログ・文庫本・電話帳・情報誌等)
ダンボール	ダンボール箱・空き箱はつぶして紐でしばるか袋に入れて下さい。 注:あくまでも家庭からでた物のみの回収です。
紙パック	牛乳・ジュース・酒などの紙パックは、中をきれいに洗って切り開き、乾かして紐でしばるか袋に入れて出して下さい。
ビン類	ビールびん(国産メーカーのみ地ビールは回収しません)特大ビン・大ビン・中ビンのみで、一升瓶(1.8ℓ)一清酒は茶色と緑色ビンのみです。 注:その他回収できないビンは、市の資源ゴミの日にお出し下さいますようお願い致します。
アルミ缶	缶に「アルミ」と書いてあることを確かめ、なるべく小さく潰して袋に入れて出して下さい。 注:スチール缶は絶対に混ぜないようにして下さい。
布類	注:汚れ・破れ・臭いなど無い物を濡れないように、透明なビニール袋に入れて、口を閉じてお出し下さい。

株式会社 紙商五代

〒061-3244

石狩市新港南1丁目22-11

電話:(0133)64-5050

FAX:(0133)64-0055

～共に生きるまちづくり～

『これからの福祉と見守り…』

～「お互いさまの」の優しさで～



「見守り」で、その人が健在かどうか確認できます。「お元気ですね」、「お買い物ですか」そんなちょっとした声掛けが、相手には温かく感じるのです。その人の暮らしの応援にもなるものです。『見守り』は、福祉の最も大事な活動と言えましょう。

福祉の目的は「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる」です。

しかし、地域の状況は、「ひとり暮らし高齢世帯の急増」や「人間関係の希薄化」など多くの課題を抱えています。これらの克服の視点からも、効果的な『見守り』方法の検討が必要とされましょう。

目的の冒頭文「誰もが」に着目すると、年齢や生活などに関係なく、全ての方々が『見守り』対象であることは明白で、高齢者や障がいがある方たちばかりでなく、子供から働き盛りの年代まですべて入ります。



「暮らし続けたい」に着目すると、単に、環境の快適さだけではなく、人と人の係わりが大切であると言われていています。地域での集まりやお付き合いは、時として「生きがい」にもなります。特に、「すこやか倶楽部、いきいきサロン、老人倶楽部」などは、健康維持の絶好の場であり、お互いの見守りの場ともなり、地域の財産とも言えましょう。

さて、課題の『ひとり暮らし高齢者世帯』増加への対応ですが、年老いると共に、身心の衰えは当然です。「困りごと、悩みごと、ふさぎこみ」等のリスクも顕著になります。また、『人間関係の希薄化』とか、果ては『地域コミュニティの崩壊』等の言葉も聞かれますが、会話も途絶え、頼れる人も失せた時ほどさびしいものは無いだろうと思います。

まずは、地域住民が「相互扶助」の精神で、近隣の「お付き合い」、「支え合い」、「気遣い合い」をしていくことが大切だと思います。その中で「見守り」は、「気づき」が大事になります。異常や異変は見逃さないこと。できるだけ早い「発見」と、専門機関などへの迅速な「連絡」が欠かせません。また、高齢者自らが「介護予防に取り組む」ことや、地域でなにか「お役に立ちたい」という気持ちが起これば「生きがい」にもつながります。地域の人々と共に活動する喜びを味わってほしいのです。

かつて、札幌の地域福祉の先達であった岩見太市氏(故人)が提唱した「地域家族の時代」が想い起こされます。地域に住む者同士が家族のように支え合い共に生きることができれば、どんなに良いか!と思っています。

認知症への理解を

～認知症サポーター養成講座～

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上では4人に1人とされています。

去る2月28日幌北会館において、各町内会の福祉推進委員や民生児童委員を対象に「認知症を学び地域で支えよう」をテーマに講座を行いました。

講師は、北区第1地域包括支援センターの副所長松本美子さん、アシスタントとして社会福祉士の川本志壽子さん、対馬真乃さんが参加されました。



認知症を引き起こす主な病気としては、アルツハイマー病（記憶障害、不安、うつ、妄想等）、レビー小体型認知症（ふるえ、幻視、幻聴等）、前頭側頭型認知症（我慢したり、思いやり等の社会性を失う）などがあるそうです。



それらは、早期診断により進行を遅らせることができるし、病気の種類によっては、薬の効果も期待できるとのことでした。また認知症予防の訓練もあるとのことでした。

サポーターとして認知症の方への対応では、3つの「基本姿勢」をあげられました。
『1. 驚かせない。2. 急がせない。そして
3. 自尊心を傷つけない。』でした。

講座では、アシスタントのお二人が、認知症の人と近所のおばさん役でコントを披露し、認知症の方への対応の仕方について、笑いの中にも「なるほど」と納得させる演技をしてくださいました。

当日の受講者は、これからの高齢者の見守り活動の中で、認知症サポーターとして、より高度な支援ができるものと期待されます。

なお、地域包括支援センターは札幌市からの委託により、高齢者の権利擁護や介護支援など、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、“総合相談支援”を行う機関であると説明されました。高齢者の心配事などは相談してみてもはいかがでしょうか。

【参考】北区第1地域包括支援センター（北24西5札幌サンプラザ5階） ☎700-2939

子どもたちのために

～札幌市幌北児童会館～

児童会館は、保護者の就労などにより放課後留守家庭となる小学生を対象に、放課後の居場所として開設していますが、もちろん登録をしなくても幼児から高校生までだれでも遊びに来ることができる施設です。

幌北児童会館の一日は、午前中小学生がいない時間帯には幼児親子が楽しく遊んでいます。毎週火曜日は「子育てサロン」毎月第2金曜日は「子育てひろば」を開催し、毎回とてもにぎわっています。放課後小学生が来館すると館内は一気ににぎやかになり、思い思いのあそびに夢中になります。特に広い体育室でのスポーツや



約3000冊の本が揃った図書室が人気です。また、来館する子どもたちがさまざまな体験をとおして成長していけるようにと「読み聞かせ」や「工作会」「スポーツ大会」などなどたくさんの行事も行っています。小学生が帰宅すると今度は中学生・高校生の時間です。毎週火曜日・水曜日は中学生は午後7時まで、高校生は午後9時まで開放しています。バスケットボールやバドミントンなどスポーツをして汗を流しています。

さまざまな年代が集まる児童会館ですが、学校・学年を超えた関わりが児童会館の目指す異年齢交流です。大きな子が小さな子のお手本になりいろいろなことを教えてあげる、小さな子は自分がしてもらったことを今度は自分より小さな子に伝えていく・・・

そのように、相手を思いやる心、相手を尊敬する心をはぐくんでいく、そのお手伝いを児童会館が担っているのだと思います。



子どもたちが成長していく上で児童会館が関われるのは本当に短い期間かもしれませんが、子どもたちが大人になった時に児童会館で過ごしたことが人生のプラスになってくれたら嬉しいです。

そのためにこれからも子どもたちが貴重な経験を積み重ねていけるように、児童会館があってよかったと言ってもらえるように、いつまでも地域の中の一員としてがんばっていきたいと思います。

新・幌北会館に来ませんか！

～地域の活動拠点…幌北会館～

新しい幌北会館になって1年が経ちました。足元に不安のある方々に配慮して“集会室”は1階になり、老人クラブのみなさんや連合町内会・地区社協・福まち推進センターなどの会合や研修に利用されています。

玄関まではスロープになり、段差の少ない、使いやすい会館となりましたが、利用されている方は少し固定的で、たくさんの方にできるだけ楽しく交流してもらえる「本来の地区会館」の姿からは少々“遠く”あるように思えます。まちづくりセンターの向かい側の情報“交流”スペースも、“交流”の文字が消えたかのような利用状態です。



幌北会館は、広く多くの地域住民の方が利用できることが『本来の姿』です。“買い物帰りのお子さん連れのお母さん”や“散歩途中の高齢者の方”が「休憩出来たり！」「お茶が飲めたり！」と、気軽に立ち寄ることができる事が「今のまちづくり」には必要かと思われま

す。集会室、会議室の専有利用は“運営費”と冬には“暖房費”、営業目的などの場合はこれに札幌市へ支払う“使用料”が必要ですが、空いているときであれば、「小さな子どもたちが集会室で気持ちよく遊んでいても良いと思いませんか？！」もちろん、けがなどが無いように！気を付けて！楽しく！活発に！…

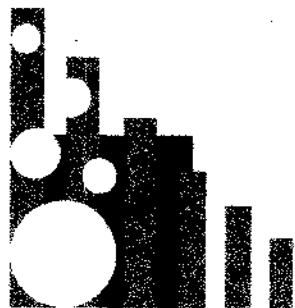
会館運営委員長さんも仰っていましたが、会館が新しくなってからの「PRが足りない！」ようです。大きな施設にはない、“アットホームで！”“気軽に立ち寄り、利用できる施設！”をもっと多くの世代や様々な方々に伝えていくことが、「ふるさととしての幌北！」や「愛着のある地域！」へと『つながる！』ように思います。



「東日本大震災」から早5年、「危機意識」や「絆」といった言葉への想いは薄れつつあるかもしれません。でも、幌北会館は『地域避難所』であり、小・中学校等の



「基幹避難所」につく存在でもあります。出入り口通路わきには「幌北地区防災マップ」も掲示されており、普段からなれ親しんでおくことも大切なことかと思えます。非常時に、大きな力を発揮して下さる「リタイヤされた世代」の方々の利用も少ないように思われます。「おやじの会」や「男の料理教室」…“飲コミュニケーションの機会”なども、紳士的なマナーのもとで、会館で行われることが必要なのかもしれませんが…



第58回 北大祭

Hokkaido University Festival

テーマ 「今年の北大祭は出席点あります。」

開催日時 6月2日(木) 12:00 ~ 22:00

3日(金) 9:00 ~ 22:00

4日(土) 9:00 ~ 22:00

5日(日) 9:00 ~ 17:00

(※お車での来場はご遠慮ください)

お問い合わせ

北大祭事務局 ☎ 011-709-5037

✉ huf@hokudaisai.com

第58回北大祭公式 Web サイト

<http://hokudaisai.com>

右のQRコードからもアクセスできます。



仮装行列 5月28日(土)開催!!!

仮装行列とは、500人以上もの北大生が仮装をして札幌中心街を練り歩く北大祭の
アレ企画です。今年度で49回目を迎える伝統あるこの企画。市民の皆様にも北大祭
の訪れを感じていただけるのではないのでしょうか。札幌駅前や大通公園付近を歩く
ので、ぜひご覧ください!



▲ 昨年度の仮装行列の様子

北大祭の企画については裏面をご覧ください➡➡

北大祭企画

ふっとう君グッズ販売 *

日時 6月2日(木) 12:00～22:00
 3日(金) 9:00～22:00
 4日(土) 9:00～22:00
 5日(日) 9:00～17:00



場所 各案内所

(販売時間は各案内所の営業時間に準拠します)

北大祭公式キャラクター「ふっとう君」のグッズ販売を行います！今年度はクリアファイル4種類、タンブラー、旧帝大コラボ付箋をご用意しました。

北大祭ご来場の記念にぜひお買い求めください！

公開講義 *



日時 6月4日(土) 11:00～12:15
 13:00～14:15
 5日(日) 11:00～12:15
 13:00～14:15

場所 古河記念講堂

北大の人気教授による講義を体験してみませんか？普段は入ることのできない古河記念講堂で、北大の最先端の学びに触られます！

北大祭キャンドルナイト2016 *

日時 6月3日(金) 20:00～21:00
 4日(土) 20:00～21:00

場所 大野池

北大の観光名所である大野池を美しいキャンドルでライトアップします！また、4日には音楽団体による演奏もあります。素敵なキャンドルと音色に癒されながら、忘れられないひとときを過ごしませんか？



スタンスラリー *

日時 6月2日(木) 12:00～18:00
 3日(金) 10:00～18:00
 4日(土) 10:00～18:00
 5日(日) 10:00～15:00

場所 企画テント内景品交換所(工学部噴水広場前)
(上記2項目は景品交換に関する情報となっております)

北大にある施設やイベントを巡りながらスタンスを集めましょう！すべてのスタンスを集めると豪華景品が当たるチャンス！3個集めるだけで景品がもらえる特別スタンスもあります。お気軽にご参加ください！スタンスラリー台帳は各案内所で配布します。



北大サイエンスラボ *

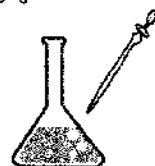
日時 6月4日(土) 11:00～17:00
 5日(日) 11:00～14:00

(受付は終了時刻の30分前までとなっております)

場所 第二体育館

前回までの実験教室企画が「北大サイエンスラボ」にリニューアル！傘を使ったパラボランテナやイワシの解剖といった身近なものを使った実験など、物理・化学・生物の幅広い分野の楽しい実験が盛りだくさん!!ぜひお越しください。

(実験内容は変更する場合がございます)



風洞実験 *

日時 6月4日(土) 10:00～16:00
 5日(日) 10:00～14:00

場所 風洞実験室(受付:工学部正面玄関ロビー)

例年、大人気の風洞体験が今年度も登場します。台風並みの風を身体全体で感じてみませんか？「流れ」という、見えないものを見る貴重な体験ができますよ。

協力:流れ制御研究室



CAMUI ロケット公開燃焼実験 *

日時 6月5日(日) 13:00～
 場所 工学部正面玄関前



この実験では、ロケットエンジンを台に固定して行うので、ロケット自体は飛びませんが、大きな音ときれいな火炎を見ることができます。火炎や大きな音がするのは、ほんの一瞬なので、お見逃しなく！

協力:宇宙環境システム工学研究室

おくすり実験 *



日時 6月3日(金) 10:00～11:00
 13:00～14:00
 4日(土) 10:00～11:00
 13:00～14:00
 5日(日) 10:00～11:00
 13:00～14:00

場所 薬学部2階 第三講義室

子どもから大人まで、見て楽しめる実験を行います!!薬局などで手に入る身近な材料を使ってできる実験ばかりです。お楽しみに♪(´▽`)

医学展科学体験教室 *

日時 6月4日(土) 10:00～17:30
 5日(日) 9:00～16:00

場所 医学部学友会館「フラテ」大研修室

砂糖が砂味に?レモンがとっても甘くなっちゃう!君の手洗いをテストしちゃおうぞ!念じるだけで動く機械を操作できる!からだの細胞も観察できるよ!医学のびっくりを体験しに、医学展へ行こう!



*記載内容は変更する場合がございます。ご了承ください。

相談
無料

仕事や生活にお困りの方のための

出張相談会

「ステップ」出張相談会 ～相談事例～

債務を整理したいのですが、相談先はありますか？

子供に手がかからなくなってきたので、扶養の範囲内で働きたいのですが？

何社も面接試験を受けていますが、緊張して上手に受け答えができないのですが？

結婚・子育て等でブランクがあるのですが、就職はできますか？

息子(娘)の就職の件で、相談する事はできますか？

就職や生活(借金、生活資金)等、様々な問題に**相談員が親身**になって対応いたします。ステップには企業開拓をするスタッフがおり、皆様の**希望の求人開拓**を行っております。

対象

札幌市にお住まいの方で、失業等による生活相談や就労支援を希望される方。
※生活保護受給中の方は対象になりません。

短時間パートをお探しの方、ぜひご相談ください！

ご予約・お問い合わせ

011-221-1766

※詳しくは裏面をご覧ください

住居確保給付金の相談も受けております。※支給には条件がありますので、詳細はお問い合わせください。

札幌市生活就労支援センター

ステップ

STEP FORWARD ～ 一步一步前へ進もう

電話 **011-221-1766** ファクス **011-221-1767**
E-mail **step-sapporo@career-bank.co.jp**

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目10番地大通公園ビル8階
受付時間 午前9:00～午後5:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

～キャリアバンク株式会社(札幌市委託事業)～

札幌市生活就労支援センター ステップ

検索



相談は随時ステップでも受け付けています。お気軽にご相談ください。

開催日程

開催時間：午前10時～午後4時

(当日の受付午後3時まで)

豊平区

5月9日(月)

月寒公民館(3F第3研修室)
豊平区月寒中央通7丁目8-19

北区

5月13日(金)

北区民センター(1F会議室)
北区北25条西6丁目1-1

南区

5月19日(木)

南区民センター(2F視聴覚室A)
南区真駒内幸町2丁目2-1

厚別区

5月20日(金)

厚別区民センター(2F和室C)
厚別区厚別中央1条5丁目3-14

手稲区

5月24日(火)

手稲区民センター(2F第1会議室)
手稲区前田1条11丁目

西区

5月26日(木)

西区民センター(2F大会議室)
西区琴似2条7丁目

就労支援の内容(例)

相談・支援の
申込み

応募先の
検討

職業紹介
職場見学

就職

※応募書類の添削を希望される方は、履歴書・職務経歴書をご持参ください。

北区社協 だより



- ★異世代交流会が開催されました…………… P1
- ★北区地域福祉活動実践セミナーを開催しました…………… P2
- ★いつまでも安心して暮らせる「トータルケア」のまちづくりを目指して…………… P3
- ★地区福祉のまち推進センターの取り組み紹介…………… P4~P5
- ★福祉除雪事業、赤い羽根共同募金のご報告…………… P6
- ★平成28年度事業計画と収支予算…………… P7
- ★ボランティア展2016に向けて、愛情銀行ご寄附のお礼、賛助会員のご紹介・募集、ボランティア活動保険更新のご案内… P8

編集発行／社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会
 北区北24条西6丁目 北区役所1階

TEL 011-757-2482 FAX 011-737-7270

異世代交流会が開催されました!!

北区新琴似地区では毎年、地区福祉のまち推進センターと各町内会が協力して、子どもから高齢者まで地域の皆で集まるイベント「異世代交流会」を開催しています。本年も3か所で開催され、延べ640人の参加となりました。子どもたちは大人達に昔あそびを教わりながら一緒に遊び、高齢者は普段なかなか交流することの少ない小さな子ども達とのふれあいに笑顔があふれました!



お父さん達がついたお餅で作ったおしるこは大人気!



まもりんも一緒に遊んできました。



めんこや竹馬を使った昔遊びを教わります。みんな真剣!



北区地域福祉活動実践セミナーを開催しました

北区社会福祉協議会と北区役所では、地域で活動する関係団体による連携協力のもとに取り組まれている「見守り・支え合い」を支援するため、「北区高齢者等要援護者見守り活動」を推進しています。

平成28年1月29日には、災害時の支え合い活動を学ぶなかで、日頃からの見守り・支え合い活動の大切さについて考え、地域福祉活動推進への理解を深めていただくことを目的としたセミナーを開催しました。

講師には、一般社団法人ウェルビー・デザイン理事長であります篠原 辰二（しのはら しんじ）氏をお招きし、1部『被災地に学ぶ支え合い活動』、2部『災害時につなげる日頃からの支え合い活動』と2つのテーマで災害についての講演をしていただきました。



1部 『被災地に学ぶ支え合い活動』

～被災をするということ～

被災をした際には物理的な被害だけでなく、様々な側面で被害があります。

なかでも、精神的な側面としての、生活の変化により認知症が進行してしまう、日めくりカレンダーで「(東日本大震災が発生した) 11日」を見るのが怖くなり、日めくりカレンダーを見ることができなくなったこと等、ニュースだけでは知ることのできないその後の生活に影響を与える災害の恐ろしさを感じることができました。

～災害被災地でおきていること～

災害はどこにでも起こり得るものであるのに、意識の低下や、繰り返し起きている災害に対しても対応の不備が起きており、避難情報での混乱や、情報発信の遅れ、避難所での生活環境が整備されていないことにより、避難時そして避難後にも被害が出てしまっています。

また、日常の課題がそのまま表れてしまい、「あの人に任せておけば大丈夫」という普段からの行動で町内会長等一部の方の負担が大きくなりすぎてしまうことや、福祉は高齢者や障がい者のものと思っている人が多く、若い人が「助けて」といえない現象も起き、ニーズと活動がうまくつながらない状況が多く見られます。

～被災地から何を学ぶのか～

日頃からできていないことは災害時にもできないので、何かあった時から取り組むのではなく、何かありそうな時から取り組む必要があり、「助け合い」「支え合い」はお互い様を原則であり、一方的なものではなく支えられる側の意見も取り入れながら活動を築いていくことが大切です。

そして、様々な団体と連携を大切にしながら、地域ぐるみで支え合い横につながる地域づくりをしていきましょう。

2部 『災害時につなげる日頃からの支え合い活動』

～日頃からの支え合いの工夫～

「[可視化・見える化]のために、マップづくりや現状調査を行う。」「[支援者を育てる]ために「食」を通じた防災啓発を行う。」「[町内会活動を機能させる]ために支援が必要人へのアイデアを出す。」等、災害時のときのために日頃から地域で出来る活動を行っていきましょう。

～支え合い活動の展開～

自分たちの地域で想定される災害を知り、住民同士で考えること「場」を作ること。支援が必要な人を中心にして支え合える地域づくりを「協議」すること。そして、誰かのせいせず住民に皆でお互いに役割を果たしあうために「活動」すること。

こういった活動が地域にはとても大切なものになります。

当日は、240名もの関係者の方々に参加をいただき、173名の方にアンケート回答をいただきました。

アンケート結果では、今回のセミナーが参考になったという回答が約98%にもなったことから分かるように、災害についてだけでなく、被災者側のことも理解できたのではないかと思います。

「もう少し細かい話も聞きたい」「高齢者の支え合いの方法について具体的な方法が知りたい」等、様々な意見もいただきましたので、今回いただいた皆様からの意見を参考にし、今後も北区における見守り・支え合い活動の力になるようなセミナーを開催していきたいと思っております。

今回参加できなかった方も、参加していただいた方も、来年度の参加を心よりお待ちしております。



いつまでも安心して暮らせる 「トータルケア」のまちづくりを目指して



新川さくら並木連合町内会
マスコットキャラクター
「ちえりばー」

平成27年度 地区福祉のまち推進センターモデル活性化支援事業
新川地区福祉のまち推進センターの取組

これまでの取組

(平成28年1月1日現在)

新川地区では、平成10年度に地区福祉のまち推進センター（以下、福まち）を立ち上げ、単位町内会ごとに福祉の会（福祉推進委員会）を設置し、見守り活動を中心とした活動を進めてきました。

平成23年度には、高齢者支援として「新川シルバーサポート事業」と位置付けて、連合町内会・地区社会福祉協議会（以下、地区社協）、地区民生委員児童委員協議会（以下、地区民児協）が一体となった見守り体制づくりをすすめ、全町内会での福祉マップ作成や、帽子や腕章などの見守り活動グッズを作成し、平成25年度には、「救急医療情報キットの配布」、介護予防のイベント「すこやかフェスタin新川」「地区社協のふれあい・いきいきサロンの開設」「専門機関による単町訪問」など新たな取り組みも進めてきました。

平成26年度からは、札幌市社会福祉協議会が進める「地域福祉トータルケアモデル事業」のモデル指定を全市で1か所のみ受け、①普及啓発 ②生活支援活動 ③介護予防の取り組みを行ってきました。

人口	28,098人
世帯数	13,280世帯
年少人口	3,665人
生産人口	17,196人
老年人口	7,237人
町内会数	14町内会+1自治会

平成27年度の取組

見守り活動のレベルアップを目指して

「地域福祉トータルケアモデル事業」指定2年目の今年度は、これまで継続してきた見守り活動のレベルアップを図るため、単町ごとに福祉推進員と民生委員児童委員が顔を合わせ、お互いの活動状況と課題、今後の活動のあり方について情報交換を行う研修会を2回開催しました。

また、より多くの地域住民の皆さんに福祉に対する理解を深めていただくため、ボランティア講座を西札ふれあい会館と新川地区会館の2会場で開催。併せて87名の方にご参加いただき、認知症や障がい、有償ボランティア活動に対する知識を深めました。



困りごとを地区全体で共有する

専門機関と区社協で地区内に13ある単位町内会のうち、11単町を訪問しました。それぞれの町内会の見守り活動上の課題を聞かせていただいたほか、「地域福祉トータルケアモデル事業」について知っていただく機会を設けました。聞き取った単位町内会の特徴的な取り組みや困りごとなどの課題は地区社協定例会で共有しました。

介護予防

今年度のすこやかフェスタin新川は新光小学校を会場に、テレビ体操でおなじみの岡本美佳さんを講師に招いて開催しました。昨年度を大きく上回る140名の方にご参加いただき、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が一緒にラジオ体操で汗を流しました。また、地域活動展も併せて開催し、サロンなどの地域の介護予防の取組も紹介しました。



平成28年度以降の取組

これまでの取組を振り返りながら、今後どのような新川地区を目指すのかを住民同士で話し合い、まとめていく「地域の福祉活動計画」づくりに取り組みます。単町における見守り活動や活動者同士の情報交換を通じて、地区社協は困りごとを抱える人の情報を共有し、解決につなげる取り組みにも力を入れ、「いつまでも安心して暮らせるトータルケアの街づくり」に取り組んでいきます。



地区福祉のまち推進センターの取り組み紹介

幌 北

～お互いに支えあうやさしいまちづくり～

幌北地区では地域の「だれもお互いに支え合い、安心して暮らせるまち」を目指し、「あいさつ+ひと声」運動を基盤に見守り・安否確認を大切にしています。また、人と人の係わりを大事に行事や老人クラブ、すこやか倶楽部やサロンへお誘いをしています。

ふるさと夏祭り（第26回）は「子どもに夢を、お年寄りに楽しいひととき」がテーマです。高齢者「福祉券」も大好評、家族連れなど馴染みの笑顔で賑わいました。

地区の敬老行事のふれあい交流会（第25回）では、幌北小学校3年生の学習発表や福祉活動のスライド紹介、元気な高齢者の発表もあり、皆さん表情が輝いていました。

このほかにも幌北地区福祉のまち推進センターでは、高齢者バスや健康に関わる各種研修会を実施しています。民児協、日赤、連町、福祉ボランティアが担当する子育てサロンも好評です。



今後も幌北地区では地域の方が参加してお互いに支えあっていける取り組みを行っていきます。短時間で楽しい活動もあります。興味のある方、学生さん、身近なことから参加してみませんか？

北区社会福祉協議会または、幌北まちづくりセンター（726-6345）までご連絡ください。



北

～健康体操教室で体力づくり～

北地区では毎年冬期限定の体操教室を開催しています。冬場は夏に比べるとなかなか外に出られず、普段お散歩の習慣がある方も体力が低下しがちです。そこで、北地区福祉のまち推進センターでは介護予防センター新道南の協力のもと、北会館にてストレッチや筋トレを行ない、冬場の運動不足解消や閉じこもり解消を図っています。

専門の先生から自宅でもできるストレッチや日常で転倒しないためのちょっとしたコツ等を教わりながら、楽しく、時には大笑いしながら運動を行ないます。地区の民生委員さん、福まち推進員さんが地域から沢山の方を誘ってくださり、会場は毎回満員の大盛況です。この冬期限定体操教室は来年も開催しますので、是非ご近所の方をお誘い合わせのうえご参加ください！

○ちなみに…冬期限定ではなく通年で定期的に身体を動かしたり脳を活性化させたり、地域での交流を図りたい方は、介護予防センターが主催する「すこやか倶楽部」があります。北地区にお住まいの65歳以上の方で、お近くの「すこやか倶楽部」の会場や日程を知りたい方は介護予防センター新道南（707-4129）までご連絡ください。



新琴似西

～住み慣れた地区で暮らしていくために～

新琴似西地区は現在北区内11地区の中で一番高齢化率の高い地区です。戸建ての家が多く、町内会の加入率が高いのも特徴で、長く住んでいる方が多い地区です。

新琴似西地区福祉のまち推進センターでは、毎年研修会を開催して新琴似地区にお住まいの方の健康や安全について理解を深めています。今年は「血圧の高い方が多い」という新琴似西地区の特徴をもとに、北区役所保健師より塩分と高血圧との関係、減塩レシピについての講話や、北区第3地域包括支援センターから振り込め詐欺防止についての講話を受けました。



新琴似西地区福祉のまち推進センターでは、住民の方がこれからも安心して暮らしていくために、ご近所同士での日頃の見守りや支えあい活動の推進を行っています。本年は各町内会が実際どのように見守り活動を行っているのか、どんなことで困っているのか、町内会ごとにアンケート調査を行いました。結果はこれから地区で行われる福祉活動に役立て、地区の方々へお返ししていく予定です。

次年度はアンケート結果をもとに、これからも安心して暮らし続けられる地区を目指した取り組みを行っていきます。



太平百合が原

～地区全体の見守り活動底上げのために～

太平百合が原地区では、地区全体の見守り活動底上げや見守り活動の実情の把握のために、太平百合が原まちづくりセンター、北区役所保健師、介護予防センター百合が原、北区第2包括支援センター、北区社会福祉協議会が、単位町内会を訪問しています。

今年度は、まず百合が原地区の7町内会に訪問させていただき、「見守り活動について」「町内会での課題について」等、のお話を聞かせていただきました。

各町内会の概要や活動は様々なものに関わらず、「役員の後継者不足」「住民同士や他町内会との交流・連携不足」「福祉活動への関心が薄い」との声が多く上がりました。



そして、去る3/17（木）に地区地域ケア会議を開催し、単位町内会訪問の報告と、聞き取りをした内容を基に作成した、架空の町内会事例を作成し、「役員の後継者不足」「住民同士や他町内会との交流・連携不足」「福祉活動への関心が薄い」という課題を解決するためには、どのような働きが必要かを討議するグループワークを行いました。各グループからは、「子どもも参加できるようなイベントを開催し、親にも町内会行事等にも参加してもらえるようにする」「回覧板だけでなく、活動チラシを作成して定期的に活動を周知する」「老人クラブや各団体と連携を図る」との意見が出ました。

来年度からは、太平地区の町内会にも訪問し、定期的に報告会を行うことで地区全体の見守り活動の底上げにつなげていきたいと思っております。



福祉除雪事業へのご協力 ありがとうございました

福祉除雪事業は、多くの地域協力員のご協力によって支えられている事業です。

地域協力員の皆様のご理解、ご協力に厚くお礼申し上げます。

平成27年度の福祉除雪事業は、北区内にお住いの874世帯の高齢者世帯・障がい者世帯が利用し、地域協力員の皆さまのご協力をいただいて無事終了することができました。

地域協力員のご紹介

幌北地区、北地区、麻生地区、新琴似地区、新琴似西地区、屯田地区、新川地区、篠路地区、太平百合が原地区、拓北・あいの里地区の皆様（119の町内会より259名のご協力）、除雪個人ボランティアの皆様（64名）、(株)リベラル様、(株)丸武加藤建設工業様、大和開発工業(株)様、末広建築設計事務所様、礼信電気実業(株)様、MAN WEIGHTトランスポート(株)様、丸周中村土木様、グリーンメンテナンス黒澤様、便利屋 陸(株)様、アイホームサービス様、(株)サンコー緑化様、IFメンテナンス塗装様、(株)緑創舎様、(株)平成道路様、北創丸杉建設(株)様



平成27年度 赤い羽根・共同募金 実績報告

(単位:円)

①戸別募金(それぞれのご家庭からいただいた募金)

お願い額		実績額				お願い額達成率	
構成比		構成比	平成26年度との比較				
17,120,000	北区	14.5%	8,160,145	北区	11.4%	H26 8,609,160 増減額 △449,015	47.7%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%		

②地域法人募金(イベント募金や企業・団体などからいただいた募金)

お願い額		実績額				お願い額達成率	
構成比		構成比	平成26年度との比較				
1,550,000	北区	12.1%	696,075	北区	5.3%	H26 1,368,289 増減額 △672,214	44.9%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%		

③街頭募金(街中で呼びかけて、いただいた募金)

お願い額		実績額				街頭募金運動に参加していただいた方々の人数	
構成比		構成比	平成26年度との比較				
例年、設定されていません。	北区	-	640,223	北区	10.8%	H26 799,544 増減額 △159,321	56団体・558人
	市全体	-		市全体	100.0%		

①戸別募金 + ②地域法人募金 + ③街頭募金

お願い額		実績額				お願い額達成率	
構成比		構成比	平成26年度との比較				
18,670,000	北区	14.3%	9,496,443	北区	10.1%	H26 10,168,657 増減額 △672,214	50.9%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%		

平成27年度も10月1日から12月31日までの期間で、「赤い羽根共同募金運動」が実施されました。今年度も、たくさんの方のあたたかい募金をありがとうございました。いただきました募金は、札幌市共同募金委員会を通じて北海道共同募金会へ送金され、平成28年度の地域福祉事業のために有効に使われます。



平成28年度の事業計画と収支予算

3月24日に開催された理事会・評議員会で承認されました

平成28年度 事業計画

急速な少子高齢化の進行により、地域社会を取り巻く環境は年々変化し、家族の介護や養育能力の低下、そして人間関係の希薄化に伴い、地域との関わりを閉ざしてしまう社会的孤立が大きな課題となっています。

本会では、地区社会福祉協議会（地区福祉のまち推進センター）、連合町内会（単位町内会）、民生委員児童委員協議会などの団体が連携・協働した活動体制を強化することにより、より多くの地域住民に「見守り・支え合い」活動を進めてまいりました。

28年度は新たに札幌市の委託による生活支援体制整備事業実施モデル区として、地域関係者の皆様とのさらなるネットワークづくりと住民参加による生活支援体制づくりを通して、誰もが孤立せずにお互いに支え合うやさしい街づくりの推進に努めてまいります。

1 地域福祉活動の推進

- (1)地区社会福祉協議会活動の強化・充実
- (2)福祉のまち推進事業の推進
- (3)ふれあい・いきいきサロン活動に対する支援
- (4)地域福祉出前講座の実施

2 ボランティア活動の推進

- (1)ボランティア活動に関する相談・需給調整
- (2)ボランティア活動の情報提供
- (3)ボランティア研修会の開催
- (4)地域見守りサポーター推進事業
- (5)北区ボランティア連絡会の活動支援
- (6)ボランティア展2016の支援

3 高齢者・障がい(児)者福祉活動の推進

- (1)福祉除雪事業の実施
- (2)日常生活自立支援事業の実施
- (3)高齢者関係機関、施設、団体等との連携
- (4)札幌市地域自立支援協議会北区地域部会への参加
- (5)札幌市生活支援体制整備事業の実施（新規）

4 福祉教育の推進

- (1)社会福祉協力校指定事業の推進
- (2)青少年関係機関・団体との連携

5 低所得世帯等福祉活動の推進

- (1)生活福祉資金の貸付相談
- (2)応急援助資金の貸付相談
- (3)特別生活資金の貸付相談

6 福祉啓発活動の推進

- (1)北区社協だよりの発行（年3回）
- (2)ボランティアセンターニュースの発行（月1回）
- (3)札幌市社会福祉協議会ホームページの活用

7 民生委員児童委員協議会活動の推進（事務局運営）

8 共同募金運動の推進（事務局運営）

9 会務の運営

平成28年度 収支予算

収入

(単位：円)

科目	27年度予算(A)	28年度予算(B)	増減(B-A)
事業活動による収入…①	37,250,000	38,190,000	940,000
会費収入	1,106,000	1,190,000	84,000
寄附金収入	263,000	600,000	337,000
市補助金収入	8,500,000	8,535,000	35,000
共同募金配分金収入	1,145,000	895,000	△250,000
助成金収入	20,174,000	20,938,000	764,000
参加費収入	10,000	5,000	△5,000
負担金収入	5,975,000	5,975,000	0
受取利息配当金収入	77,000	52,000	△25,000
雑収入	0	0	0
施設整備等による収入…②	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
その他の活動による収入…③	5,400,000	900,000	△4,500,000
基金積立資産取崩収入	5,000,000	0	△5,000,000
サービス区分間繰入金収入	400,000	900,000	500,000
前年度からの繰越金…④	2,725,000	2,798,000	73,000
収入計…①+②+③+④	45,375,000	41,888,000	△3,487,000

支出

(単位：円)

科目	27年度予算(A)	28年度予算(B)	増減(B-A)
事業活動による支出…①	37,660,000	37,524,000	△136,000
法人運営事業関連支出	2,010,000	2,127,000	117,000
地域福祉推進事業関連支出	27,140,000	26,762,000	△378,000
福祉のまち推進事業関連支出	8,510,000	8,635,000	125,000
基金運営事業関連支出	0	0	0
施設整備等による支出…②	0	950,000	950,000
器具及び備品取得支出	0	950,000	950,000
その他の活動による支出…③	5,460,000	900,000	△4,560,000
投資有価証券取得支出	0	0	0
社会福祉基金積立資産支出	5,060,000	0	△5,060,000
サービス区分間繰入金支出	400,000	900,000	500,000
来年度への繰越金…④	2,255,000	2,514,000	259,000
支出計…①+②+③+④	45,375,000	41,888,000	△3,487,000



ボランティア展2016開催に向けてボランティア大募集!

●ボランティア展とは… ～育てよう、思いやり～

「ボランティア展」は「温かい地域社会の中で、子どもたちに思いやりの心を育てたい」という親たちの願いを込めて、1997年から開催しています。本年度も12月5日に開催され、のべ500名の参加で賑わいました。

●2016年は20回目を記念して、盛大に開催します!

来年度は12月3日(土)札幌サンプラザにて開催されます。

例年に比べ大きなイベントとなる予定です。

そこで、ボランティア展2016開催に向けて一緒に活動して下さる

ボランティアさんを募集します。(年齢性別不問)

興味のある方は本会事務局までご連絡ください。



あたたかいご寄附ありがとうございました

■スローライフ・イン・に～よん実行委員会様…金20,000円

平成27年
11～2月

本会愛情銀行に預託し、北区の地域福祉推進のために有効に活用させていただきます。

賛助会員を募集しています

本会では、地域における福祉活動を広く推進する財源を確保するため、賛助会員を募集し、会費を募っています。

あなたも会員に加入して、北区の地域福祉を進めていくためにご協力いただけませんか?

趣旨に賛同し、ご入会いただける方は、本会事務局、又は右記への振込みをもってご入会をお願い申し上げます。

会費額 (年額)	個人(1口)1,000円 団体(1口)2,000円
-------------	------------------------------

振込口座 (郵便局)	02760-7-41893
---------------	---------------

口座名義	社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会
------	------------------------

平成27年11月1日から平成28年2月29日までに会員となっていた方と団体

個人会員

■M	■A	様
■阿部	■尚人	様
■樋口	■篤子	様
■本間	■カオル	様

団体会員

■北相談センター	様
■北ヘルパーセンター	様

ボランティア活動保険の更新時期です

ボランティア活動保険とは、ボランティア活動中の事故を補償する制度で、ボランティア自身のケガ等はもちろん、相手にケガをさせた場合や、活動場所の物品を壊してしまった場合等に適用されます。安心してボランティア活動に取り組んでいただくため、加入をお勧めしています。

■年度末(3月31日24時)で失効する制度ですので、更新がお済みでない方は手続きをお願いします。

■補償期間は、社会福祉協議会の窓口で加入手続きした翌日0時から、平成29年3月31日24時までです(平成28年度内、いつ手続きしても、平成29年3月31日24時をもって失効します)。

■中途解約による保険料の払い戻しはありません。

保険料、詳しい加入手続き方法等については、社会福祉協議会までお問い合わせください。

お問い合わせ/社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会

TEL 011-757-2482 FAX 011-737-7270



2016 北区春の防火だより

平成 27 年中札幌市内の火災件数は 546 件（前年比 1 件増）、火災による死者は 15 名（前年比 8 名減）でした。

出火原因では多い順に『コンロ』『放火』『電気関係』となり、コンロが出火原因の 1 位になったのは平成 19 年以来となります。一人ひとりが注意し、火災が起きないようにしましょう。

コンロからの火災を起こさないために

- ・調理中はその場を離れない。
- ・コンロの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・グリルや換気扇はこまめに掃除する。

◎ 万一のために住宅用消火器を備えましょう。

◎ 住宅用火災警報器は 10 年をめぐり、本体ごと交換をお勧めします。

放火されないために

- ・ごみは所定の場所に収集日の朝に出す。
- ・家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ・郵便受けに郵便物等をためない。
- ・車庫・物置は必ずカギをかける。

春の火災予防運動

平成 28 年 4 月 20 日～4 月 30 日

札幌市消防局では全市一斉に「春の火災予防運動」を実施します。

春は空気が乾燥しているため、火災が発生しやすくなります。

また、強い風が吹くことが多く、たばこの吸い殻の投げ捨てなどから、大きな火災へとつながる場合があります。

昨年、北区内では野火が多く発生しましたので、屋外での火気の取り扱いに十分に注意しましょう。



発行

札幌北区防火委員会

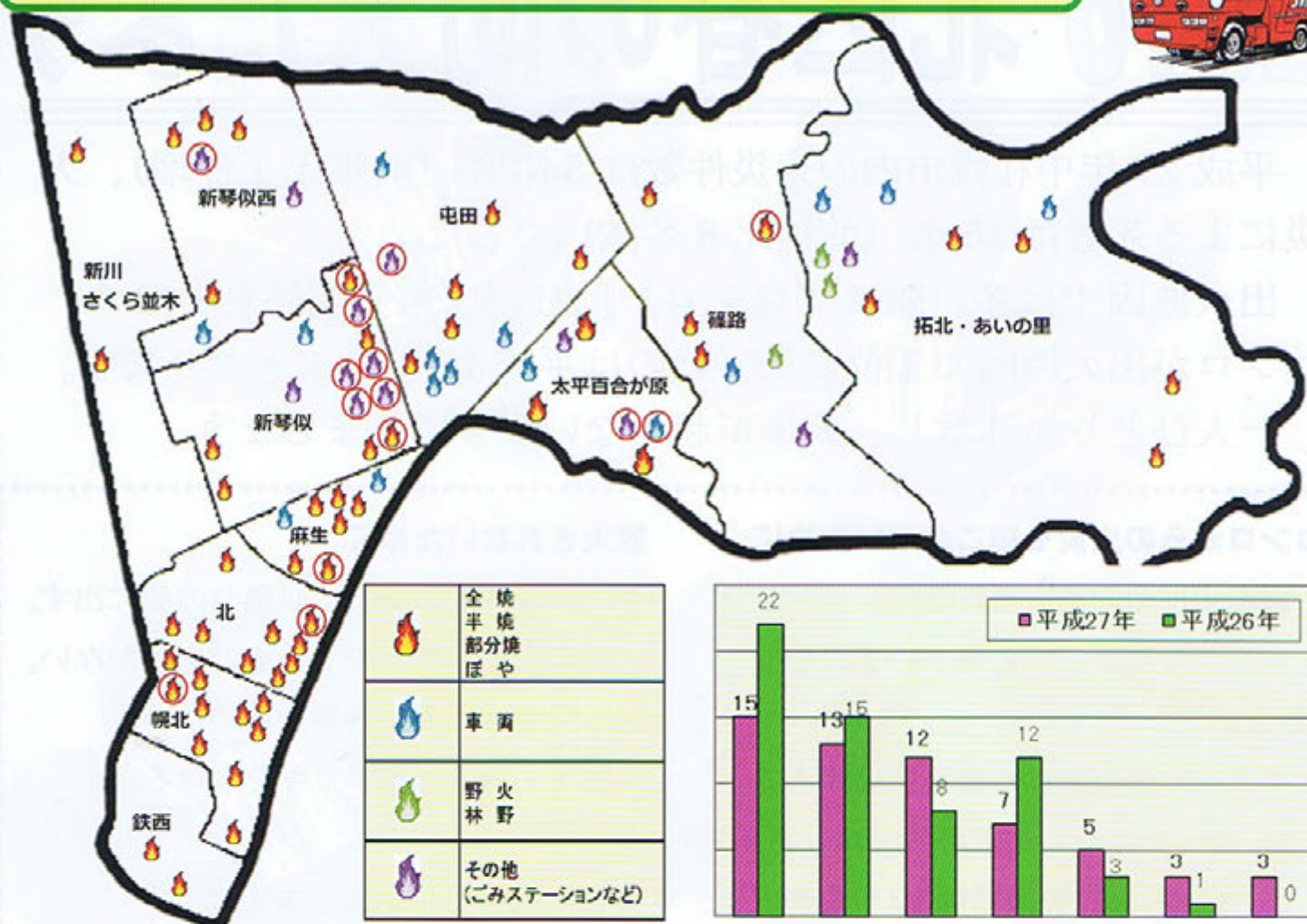
事務局

札幌市北消防署内
札幌市北区北 24 条西 8 丁目

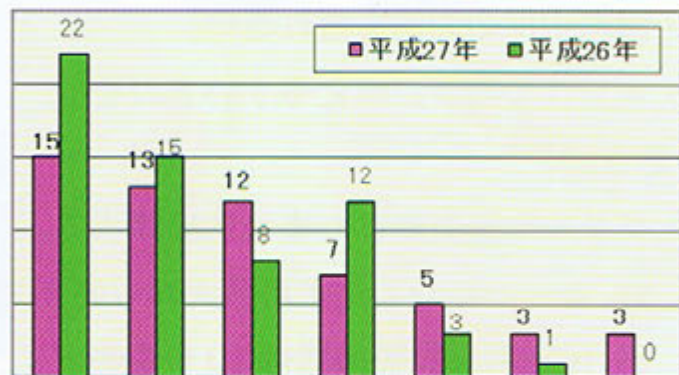
TEL 011-737-2100

FAX 011-271-0636

＝平成27年 北区火災マップ＝



	全焼 半焼 部分焼 ぼや
	車両
	野火 林野
	その他 (ごみステーションなど)



※ ○囲みは、放火火災

■平成27年 ■平成26年
放火 コンロ 電気関係 たばこ たき火 灯火 マッチライター

	北区	鉄西	幌北	北	新川さくら並木	新琴似	麻生	幌路	屯田	新琴似西	太平百合が原	拓北・あいの里
27年	87 (15)	2 (0)	10 (1)	9 (1)	2 (0)	13 (7)	8 (1)	7 (1)	11 (1)	7 (1)	7 (2)	11 (0)
26年	94 (22)	3 (0)	10 (1)	10 (2)	10 (6)	5 (1)	8 (4)	6 (1)	12 (3)	8 (0)	9 (4)	13 (0)
25年	88 (12)	4 (1)	11 (1)	17 (4)	8 (1)	9 (0)	11 (1)	6 (1)	9 (1)	3 (1)	3 (0)	7 (1)
24年	84 (18)	4 (1)	8 (0)	11 (6)	10 (2)	8 (1)	6 (0)	8 (2)	7 (0)	12 (6)	5 (0)	5 (0)
23年	116 (30)	5 (0)	11 (5)	15 (5)	12 (2)	20 (9)	9 (1)	8 (1)	16 (4)	11 (2)	4 (1)	5 (0)
5年間平均	93.8 (19.4)	3.6 (0.4)	10 (1.6)	13 (3.6)	8 (2.2)	11 (3.6)	8.4 (1.4)	7 (1.2)	11 (1.8)	8.2 (2)	5.6 (1.4)	8.2 (0.2)

※ () は火災件数における放火数の内数を示す。

安全と安心の暮らし

札幌市民の火災共済

建物最高 3,500万円
月金お持ち帰り3,000円まで まで20年
 家財最高 1,500万円

～新築保険も取扱っています。～

自然災害から補償する火災共済補完の「火災保険(地震保険付き)」を始めています。

任意の費用負担にそなえ、安心を助けます。
「新・団地共済」

(引保険会社) 協栄保険ジャパン日本興業(株)

大家さんへの賠償責任を補償する
「借家人賠償責任保険」をご用意しました。

古くなった住宅用消火器を回収しています!

古くなった消火器は、いざという時に使えなかったり、破裂事故につながる場合があります。回収のご相談は専用電話をご利用ください。

[専用電話] 011-804-3670

※回収には費用がかかります。